

[illegible]

(2) 取り組んできた主な事業内容

【主な対応事例】

- ・たらこ等生鮮食品加工について（石巻市）：宮城大学教員に相談。加工技術について現地調査を行う。
- ・服飾関係の製造・デザイン・後継者課題について（登米市）：コーディネーターによる課題の抽出、ブランディング等についてデザイン系学科の学生の協力の可能性を検討中。
- ・精密機械の製造販売企業の中長期経営計画の検討（気仙沼）：支援団体とのマッチングを図り、マネジメントの重要性、中長期計画の見直しなどを実施。
- ・バック製造販売企業（南三陸）：支援機関とのマッチングを図る。また大学連携によるデザイン開発、商品開発を検討。
- ・水産生鮮食品販売加工（石巻）：6次化支援にむけての対応。支援機関とのマッチングを図る。経営改善を目的に中長期計画の立て直しについて検討。工大との連携を目指している。海産物の特長を生かした加工食品の開発の検討。
- ・精密機械切削金属機械加工（岩沼）：受発注に伴う業務改善の課題について、ICT導入なども視野に検討中。
- ・非鉄金属製造業（仙台市）：学術機関とのマッチングにより、テストピースの製造ができたことにより、試作開発について外部資金導入の検討を行う。



専任コーディネーターが今後の経営計画策定など、アドバイスを実施



課題確認の為の工場見学の様子

(3) 作成リーフレット



企業訪問

コーディネーターが7社訪問（12月2社、平成30年1月3社、2月2社）した。直接の依頼案件はなかった。震災から7年が経過し、事業内容に関する支援よりも、人材育成に関して大学に期待している企業が多くなっている。

面談報告

■ 東松島市観光物産協会 12月4日

太田氏は、東松島市の地場産品振興を行う団体「まちんど」の運営責任者（番頭）であり、物産品展示施設での物販と共に、生産者をクローズアップする冊子「東松島たべる通信」の編集、発行も行っている。四半期毎に発行されるこの冊子のユニークな点は、生産者による製品がセットとして（付録のようなかたちで）ついてくることである。購入者は、冊子を読んで生産者の苦労やお薦めの食べ方といった情報を得ながら、実際にその製品を食べることができる。現在、他県の大学生を受入れ、地産品振興のためのワークショップなども行っているが、地元の学生に対しても同じような取り組みを行いたいとお話を頂いた。

■ 石巻産業創造（株） 12月6日

近藤氏は石巻市内の金融機関を退職後、現職に就く。前職で培った人的ネットワークを活用し、経営者、起業者と専門家を繋ぐ役割を担っている。石巻市が主催する「創業ビジネスグランプリ」に関わったことで、若い世代の起業家への支援の必要性を感じた。今年度、講師を務めた石巻専修大学の「ビジネス演習」に期待するところも大きく、次年度の講師継続にも意欲的である。

■ 石巻コミュニティ放送（株） 1月15日

専務の高須賀氏は、南光運輸に勤務され、石巻魚市場での勤務経験もある。南光の新入社員時代に、効率向上の環境づくりのための「カイゼン」研修など各種研修プログラムに参加した。その経験は、過去、現在の職場で活かされているとの事。大学生や新社会人（頭の柔らかい）のうちに、このようなコンセプトを叩き込む必要があると仰っていた。

■ メディアテック（株） 1月15日

同社はソフトウェア、アプリの開発、ホームページ作成のみならず、子どものためのプログラミング講座やIoT、シェアリングエコノミーなどに関する研修、セミナーも受託している。代表の加藤氏は自社の社員を含む最近の新社会人について、コミュニケーション能力が低く積極性に欠けるという印象をもっており、大学の教育内容を見直す必要があるとの見解を示された。学生のうちに「社会人としての基礎力」である、考え抜く(thinking)・チームで働く(Teamwork)・前に踏み出す(Action)の三つの力の醸成が必要であり、現代の大学教育に求められる部分であるとの事。

■ Yahoo! 石巻復興ベース 1月16日

同事務所は、最大被災地・石巻の復興の過程で見られる様々な課題や震災前からの地域課題に対し、ITや革新的なアイデアを活用して解決を図るために設置されたオープンスペースである。同時に、その知見をYahoo! 本体の事業へ還元させる目的がある。震災により、一層の人口流出と高齢化が進む石巻圏にて、漁師の担い手確保（フィッシャーマン・ジャパンの立ち上げ）などに取り組んでいる。

■ 石巻信用金庫 12月28日

H29年3月に同金庫と石巻専修大との連携協定が結ばれ、「ISプロジェクト」として産学官連携の推進を行っている。地域貢献部は起業を考えている方や若手経営者に向けて、専修大や東北大学の教授らによるイノベーション企業家塾なども開催している。現在は、6月に蛇田新市街地に完成する新店舗のお披露目や設立90周年イベントの準備に奔走しており、これらイベントでも石巻専修大の協力（ブース出展など）を頂きたいとの事。

■ （株）ゼンインターナショナル 12月28日

同社はイオンモール石巻、名取、富谷などで「Subway」「ペッパーランチ」「ドールコーヒー」等のフランチャイズ店舗経営を行う。木村 亜梨紗氏は同社代表の木村 美保子氏の一人娘、後継者であり、若くして複数店舗のマネジメントをこなしている。また、青年会議所（JC）活動にも母親同様、熱心であり、今年度は多数の政治家を輩出している日本青年会議所への出向も果たしている。飲食などのサービス業は慢性的な人手不足が続いており、特にマネジメントを任せられるような人材の確保が難しいことが課題であり、大学教育の質の向上に期待せざるを得ないとの事だった。